

令和 3 年8月30日
村田高校図書館

としょかんだより

令和 3 年8月号

新規受け入れ本の紹介

鏡の向こうの最果て図書館
竜とそばかすの姫
ロボット イン ザ ガーデン
紫ノ宮沙霧のビブリオセラピー
日本怪異伝説事典
悪魔を殺した男
図書室の奥は秘密の相談室
白鳥とコウモリ
麦本三歩の好きなもの 第2集

京大式へんな生き物の授業
わたしの主人公はわたし
クララとお日さま
累々
水を縫う
正欲

などなど

こんな本もあります

「まなの本棚」

芦田愛菜著 小学館

子役の、いえもはや大女優というべき芦田愛菜さんが書いた本の本です。

「図書館にお布団を敷いてそこで寝たい」というほど本が好きな芦田愛菜さん(わかります。わたしも図書館で暮らしたいとずっと思っていました)。それにしても思うのは、忙しい毎日だろうによく本を読む時間があるな、でした。女優業をやって、みなさんと同じ高校生で、某有名大学を目指していると聞いたことがあります。

でも、頭がいい人は(学校の成績がいいではありません、念のため)時間のやりくりが上手と聞いたことがあります。芦田愛菜さんは本当に頭がいいのでしょうか。

この本で紹介されているのは、みなさんも知っている本です。背伸びしない素直な文章はとても好感がもてます。

みなさんも読んでみませんか？



新聞・新聞・新聞 ①

新聞、読みますか？

最近は新聞をとらない家庭も多いと聞きます。社会人でもスマホでニュースを読むだけという人も多くなっているようです。

でも、高校生なら、特に進路を考えるなら新聞を読みなさいと指導されます。

それは何故でしょう？

スマホですと自分の読みたい記事しか読まない、という点があります。どうしても読む記事の偏りがでてしまう。その点新聞はどこにどういう記事がくるのか、ある程度決まっているので、それを理解すれば社会を見渡すのにとても役立ちます。

新聞は大きく全国紙と地方紙に分けられます。朝日新聞や毎日新聞、読売新聞などが全国紙で、河北新報は地方紙です。全国紙で宮城の話題は少ないですが、河北新報は宮城の話題てんこ盛りですよ。

新聞の第一面などには全国的な大きな記事、政治の記事、経済、国際的な記事がきて、反対側(裏側)はテレビ欄、社会面といわれる身近な記事がきます。新聞の内側には文化面、スポーツ欄。だいたいこの流れです。つまり外側が時事性のつよいもの(テレビ欄は別！)、内側が時間に縛られないで紙面を作れるもの。

そう、毎日の新聞は内側(文化面やスポーツ欄)を先に作っておいて、外側はあとで加える形で作られます。したがって、どんなに大きな事件でも、起きた時刻によってはごくごく小さくしか報道されないこともあります。

また全国紙の場合、北海道と東京では第一面が違います。同じ時間に配達するために、紙面編集の時刻を変えているからです。東京など首都圏は編集の時刻に余裕があるため最新の記事が載る、ということです。



貸出統計(1 学期)

	1組	2組	3組	計
1年次	20	23	25	68
2年次	5	20	18	43
3年次	5	6	0	11
				122